

## 健康栄養学科

### 井澤幸子

A (著書)					
著書、論文等の名称	単著 共著	発行・ 発表年月	発行所、発表雑誌 (及び巻号数)等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
1. MNA 在宅栄養ケア 在宅高齢者の低栄養予防と早期発見	共著	2015年1月	医歯薬出版株式会社	葛谷雅文, 酒元誠治, 佐竹昭介, 中村丁次, 榎 裕美, 菊谷 武, 尾関麻衣子, 山田 実, 下村義弘, 蕪木智子, 井澤幸子, 山本祐子, 水野智之, 竹内研時, 古田美智子, 棚町祥子, 三浦久幸	pp.54 - 58
2. 栄養科学シリーズNEXT 応用栄養学 第4版	共著	2015年3月	講談社	青井渉, 安西正弘, 井澤幸子, 出口佳奈絵, 井上里加子, 上西一弘, 榎 裕美, 岡田希和子 ほか28名	pp.150 - 153
B (論文)					
著書、論文等の名称	単著 共著	発行・ 発表年月	発行所、発表雑誌 (及び巻号数)等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
1. 在宅療養中の要介護高齢者における栄養摂取方法ならびに食形態と生命予後・入院リスクとの関連	共著	2015年2月	日本老年医学会誌 2015;52:170 - 176	葛谷雅文, 長谷川 潤, 榎 裕美, 井澤幸子	本人担当部分：データの整理・入力を行った。

### 市原啓子

B (論文)					
著書、論文等の名称	単著 共著	発行・ 発表年月	発行所、発表雑誌 (及び巻号数)等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
プレバチルスBIC発現系を用いたエンピジンの部位特異的組換えタンパク質の発現と精製	単著	2015年3月	心身科学第7巻第1号		pp.49 - 55
D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称、開催地	発表者	
プレバチルス発現系によるエンピジンのドメイン特異的組換えタンパク質の発現	学会発表	2014年10月	第87回日本生化学会大会, 京都	市原啓子	

## 上野有紀

B (論文)					
著書, 論文等の名称	単著 共著	発行・ 発表年月	発行所, 発表雑誌 (及び巻号数) 等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
1. Prevention of allergic rhinitis by ginger and the molecular basis of immunosuppression by 6-gingerol through T cell inactivation.	共著	Available online 1 September 2015	Journal of Nutritional Biochemistry	Kawamoto Y, Ueno Y, Nakahashi E, Obayashi M, Sugihara K, Qiao S, Iida M, Kumasaka MY, Yajima I, Goto Y, Ohgami N, Kato M and Takeda K.	doi: 10.1016/j.jnutbio.2015.08.025
D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称, 開催地	発表者	
1.食と健康～食品機能化学の視点から	講演会	2014年12月	平成26年度なごや健康カレッジ, 名古屋	上野有紀	
2.フェルラ酸の脂質代謝異常および慢性炎症への影響	学会発表	2015年3月	日本農芸化学会2015年度大会, 岡山	上野有紀, 竹市真奈, 西川佳那, 濱田 愛, 山田雄太, 大澤俊彦	
3. Dietary fiber – rich black currant extract regulates hepatic lipid metabolism and inflammation in diabetic mice	学会発表	2015年5月	12th Asian Congress of Nutrition (12th ACN), Yokohama, JAPAN	Yuki Ueno, Naomi Kobayashi, Manami Tanaka, Ai Hamada, Haruka Kondo, Yosuke Takimoto and Toshihiko Osawa	

## 宇野 智子

A (著書)					
著書, 論文等の名称	単著 共著	発行・ 発表年月	発行所, 発表雑誌 (及び巻号数) 等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
カレント臨床栄養学 編著: 明渡陽子, 長谷川輝美, 山崎大治 第10章代謝・内分泌疾患	単	2015年9月	建帛社		pp.102 – 106, 124 – 133
C (翻訳・資料)					
著書, 論文等の名称	単著 共著	発行・ 発表年月	発行所, 発表雑誌 (及び巻号数) 等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
女子大学生のライフイベント意識調査(会議録)	共	2015年3月	CAMPUS HEALTH (1341 – 4313) 52巻1号	糠谷敬子, 外ノ池隆史, 森山恭子, 宇野智子, 北村洋子, 後藤真紀, 岩瀬 明, 玉腰浩司, 大澤 功	p.475
大学生へのリプロダクティブ教育 意識調査と教育効果についての検討(会議録)	共	2015年4月	日本不妊カウンセリング学会誌 14巻1号	糠谷敬子, 後藤真紀, 森山恭子, 外ノ池隆史, 宇野智子, 岩瀬 明, 大澤 功	p.45

D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称、開催地	発表者	
適正ドライバー研修「健康管理の必要性」	講演会	2014年11月	一般社団法人愛知県トラック協会 みよし市		
適正ドライバー研修「健康管理の必要性」	講演会	2015年1月	一般社団法人愛知県トラック協会 みよし市		
安全管理者研修「健康管理の必要性」	講演会	2015年4月	一般社団法人愛知県トラック協会 みよし市		

## 大澤俊彦

A (著書)					
著書、論文等の名称	単著 共著	発行・ 発表年月	発行所、発表雑誌 (及び巻号数)等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
1. チョコレートの科学	共著	2015年5月	朝倉出版	大澤俊彦, 木村修一, 古谷野哲夫, 佐藤清隆	pp.90-126
2. 食物と健康の科学シリーズ ゴマの機能と科学	共著	2015年1月	朝倉出版	並木満夫, 福田靖子, 田代 亨, 大澤俊彦, 望月美佳, 他	pp.72-79
B (論文)					
著書、論文等の名称	単著 共著	発行・ 発表年月	発行所、発表雑誌 (及び巻号数)等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
1. アンチエイジングと抗酸化食品 抗酸化食品の可能性 - 抗酸化研究の現状と課題 -	単著	2015年1月	月刊食品工場長 No. 213		pp.18-21
2. 多種フリーラジカルの消去活性計測によるきのこの新規抗酸化評価法	共著	2015年4月	日本きのこ学会誌 Vol.22(4)	菅野友美, 岡本祥一, 山本久美子, 原田栄津子, 亀谷宏美, 鶴飼光子, 大澤俊彦	pp.153-158
3. クルクミン, テトラヒドロルクミンの持つ機能性研究の最近の動向	単著	2015年6月	Functional Food 9(1)		pp.4-9
4. 活性酸素と抗酸化物質	単著	2015年7月	臨床化学 44		pp.183-190
5. Stereochemical determination of O - desmethylangolensin produced from daidzein	共著	2015年	Food Chemistry 171	Toshio Niwa, Shin - ichiro Yokoyama, Natsuki Mastugasaki, Eri Inomata, Asako Taira, Toshihiko Osawa	pp.153-156
6. Rasagiline and selegiline suppress calcium efflux from mitochondria by PK11195 - induced opening of mitochondrial permeability transition pore: a novel anti - apoptotic function for neuroprotection	共著	2015年	Journal of Neural Transmission Vol.122	Yuqiu Wu, Kimiko Kazumura, Wakako Maruyama, Toshihiko Osawa, Makoto Naoi	pp.1399 - 1407
C (翻訳・資料)					
著書、論文等の名称	単著 共著	発行・ 発表年月	発行所、発表雑誌 (及び巻号数)等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
1. 健康長寿と機能性食品③ 素晴らしい発酵技術	単著	2014年10月	中日新聞 - 連載特集 「味な提言」		
2. 健康長寿と機能性食品④ 世界で愛されるゴマ	単著	2014年10月	中日新聞 - 連載特集 「味な提言」		
3. 健康長寿と機能性食品⑤ 抗酸化性高いごま油	単著	2014年10月	中日新聞 - 連載特集 「味な提言」		
4. 健康長寿と機能性食品⑥ ゴマ成分 動脈硬化予防	単著	2014年10月	中日新聞 - 連載特集 「味な提言」		
5. 健康長寿と機能性食品⑦ 着色, 料理にターメリック	単著	2014年11月	中日新聞 - 連載特集 「味な提言」		

6.健康長寿と機能性食品⑧ 老化防ぐターメリック	単著	2014年11月	中日新聞－連載特集 「味な提言」		
7.健康長寿と機能性食品⑨ がん,糖尿病…予防のワサビ	単著	2014年11月	中日新聞－連載特集 「味な提言」		
8.健康長寿と機能性食品⑩ ニンニクに世界が注目	単著	2014年11月	中日新聞－連載特集 「味な提言」		
9.健康長寿と機能性食品⑪ 抗酸化性強力なレモン	単著	2014年11月	中日新聞－連載特集 「味な提言」		
10.健康長寿と機能性食品⑫ 有色植物 脂肪燃焼も	単著	2014年12月	中日新聞－連載特集 「味な提言」		
11.健康長寿と機能性食品⑬ がん予防,抗酸化力 発芽野菜	単著	2014年12月	中日新聞－連載特集 「味な提言」		
12.健康長寿と機能性食品⑭ カカオポリフェノールに注目	単著	2015年1月	中日新聞－連載特集 「味な提言」		
13.健康長寿と機能性食品⑮ チョコ摂取で降圧効果	単著	2015年1月	中日新聞－連載特集 「味な提言」		
14.健康長寿と機能性食品⑯ 赤ワインに寿命延長成分	単著	2015年1月	中日新聞－連載特集 「味な提言」		
15.健康長寿と機能性食品⑰ 魚介類 豊富な抗老化成分	単著	2015年1月	中日新聞－連載特集 「味な提言」		
16.健康長寿と機能性食品⑱ 赤い色素 強力な抗酸化作用	単著	2015年2月	中日新聞－連載特集 「味な提言」		
17.健康長寿と機能性食品⑲ 抗酸化成分含むキノコ	単著	2015年2月	中日新聞－連載特集 「味な提言」		
18.健康長寿と機能性食品⑳ 科学技術で食品評価目指す	単著	2015年2月	中日新聞－連載特集 「味な提言」		
D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称, 開催地	発表者	
1.健康長寿における抗酸化フードファクターの役割	講演	2014年10月	ビタミン学会公開講演会,名古屋	大澤俊彦	
2.機能性食品開発の現状と将来展望	基調講演	2014年10月	フーズサイエンスフォーラム, 浜松	大澤俊彦	
3.チョコレート摂取による健康効果に関する実証研究	講師	2014年11月	蒲郡市民講座「チョコレートの機能性と健康生活」, 愛知県蒲郡	大澤俊彦	
4.生体内抗酸化機能評価研究の現状と動向	講演	2014年11月	第8回 AOU 研究会理事長講演, 東京	大澤俊彦	
5.健康長寿と機能性食品成分	教育講演	2014年11月	第1回日本薬膳学会学術総会 市民公開講座, 三重県 鈴鹿	大澤俊彦	
6.日常に生かす健康栄養学の知恵	講演	2015年2月	心身科学研究所	大澤俊彦	
7. Anti - atherosclerotic effect of Ursolic acid and derivatives by the expression of cell adhesion molecules induced by TNF - alpha.	学会発表	2015年5月	第12回アジア栄養学会議, 横浜 ACN2015 (12th Asian Congress of Nutrition)	Mika Mochizuki, Taichi Uozumi, Shinsuke Hisaka, Toshihiko Osawa	
8. A study on health promoting power in Astaxanthin by using dual - mode observation of innate immune responses in neutrophils	学会発表	2015年5月	第12回アジア栄養学会議, 横浜	Kimko Kazumura, Yukiko Sato, Mika Mochizuki, Hiroshi Tsuchiya, Takashi Koike, Yuqiu Wu, Shigetoshi Okazaki, Toshihiko Osawa	
9.チョコレートの機能性と健康生活	講演	2015年5月	蒲郡スタディ東京フォーラム, 東京	大澤俊彦	

10. チョコレート効果 CACAO72% 4週間摂取による生活習慣病改善効果に関する探索的評価	学会発表	2015年5月	第15回日本抗加齢医学会総会	石川大仁, 瀧本陽介, 山地健人, 伊藤裕之, 早川 潔, 河邊義和, 渡辺智之, 大澤俊彦	
11. カカオポリフェノールと健康長寿－細胞レベルからヒト臨床試験まで	講演	2015年5月	第15回日本抗加齢医学会総会シンポジウム22「栄養と健康長寿～抗酸化食品・機能性成分に着目して～」, 福岡	大澤俊彦	
12. 食と健康長寿～発酵食品を中心に～	講師	2015年7月	一宮市消費生活講座	大澤俊彦	
13. 「チョコレート摂取による健康効果に関する実証研究」まとめ		2015年7月	カカオポリフェノール研究最終報告会, 名古屋	大澤俊彦	
14. 日本型デザイナーフーズの説明と、野菜とチョコレートの組合せについて	講師	2015年7月	野菜ソムリエ協会, 大阪	大澤俊彦	
15. Development and Application of Antioxidative Food Factors	講演	2015年8月	淡路島国際会議, 兵庫 International Symposium on Dietary Antioxidants and Oxidative Stress in Health (DAOSH 2015)	Toshihiko Osawa	
16. チョコレートの健康効果と最新研究	講演	2015年9月	東京チョコベジワークショップ, 東京	大澤俊彦	
17. 栄養と健康長寿～抗酸化食品に着目して～	基調講演	2015年9月	ヘルスイノベーションカレッジ, 札幌	大澤俊彦	
18. 高カカオチョコレート摂取による健康効果	講演	2015年9月	チョコレート・ココア国際栄養シンポジウム, 東京	大澤俊彦	
19. 機能性食品因子と健康	講演: 講師	2015年9月	ダノン健康栄養フォーラム, 東京	大澤俊彦	

## 北川千加良

B (論文)					
著書, 論文等の名称	単著 共著	発行・ 発表年月	発行所, 発表雑誌 (及び巻号数) 等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
1. 小学生の食育推進のための栄養教育方法の検討	共	2015年3月	愛知学院大学心身科学研究紀要 心身科学第7巻第1号	酒井映子, 森岡亜有, 内藤正和, 北川千加良, 末田香里	pp.75-84
D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称, 開催地	発表者	
1. おいしく学ぼう健康料理	講座	2015年1月	日進市市民協働課「健康料理講座」, 日進市	北川千加良	
2. Influences of parents' awareness on nutrition education at home for preschoolers	学会発表	2015年5月	12th Asian Congress of Nutrition, Yokohama, Japan	Eiko Sakai, Tikara Kitagawa, Ayu Morioka, Kaori Sueda	
3. 子ども大学にっしん	講座	2015年7月	日進市生涯学習課「健康料理講座」, 日進市	北川千加良	
4. 主観的食事量『腹八分目』の栄養教育の行動目標としての効果の検討	学会発表	2015年9月	第62回日本栄養改善学会, 福岡	酒井映子, 北川千加良, 森岡亜有, 末田香里	
5. 生活習慣病ハイリスク者に対する食事パランスガイドの活用	学会発表	2015年9月	第62回日本栄養改善学会, 福岡	北川千加良, 森岡亜有, 末田香里, 酒井映子	

## 酒井映子

A (著書)					
著書、論文等の名称	単著 共著	発行・ 発表年月	発行所、発表雑誌 (及び巻号数)等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
栄養教育・指導実習ワークブック 第2版 第4部 食環境づくりにおける栄養教育・指導実習	単著	2015年4月	(株)みらい		pp.218～241
B (論文)					
著書、論文等の名称	単著 共著	発行・ 発表年月	発行所、発表雑誌 (及び巻号数)等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
1.小学生の食育推進のための栄養教育方法の検討	共	2015年3月	愛知学院大学心身科学 研究所紀要 心身科学 第7巻第1号	酒井映子, 森岡亜有, 内藤正和, 北川千加良, 末田香里	pp.75-84
C (翻訳・資料)					
著書、論文等の名称	単著 共著	発行・ 発表年月	発行所、発表雑誌 (及び巻号数)等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
健康アラカルト – ストレス対策に役立つ 食事 –	単著	2015年7月	名古屋市教育委員会, 校長なごや No.20		p.4
D (学会発表等)					
演題の名称	発表 形式	発表年月	学会等名称、開催地	発表者	
1.栄養学教育におけるアクティブ・ラーニング研究対話集会	講演 会	2014年12月	公益社団法人私立大学 情報教育協会, 栄養学 教育 FD/ICT 活用研 究委員会, 東京家政大 学, 東京	酒井映子	
2.高浜市第5回こども食育発表会 ワーク ショップ「子どもに伝えたい食育～自分に できること～」	コー ディ ネー ター	2015年2月	高浜市こども食育推進 協議会, JA あいち中 央高浜支店, 高浜	酒井映子	
3. Influences of parents' awareness on nutrition education at home for preschoolers	学会 発表	2015年5月	12th Asian Congress of Nutrition, Yokohama, Japan	Eiko Sakai, Tikara Kitagawa, Ayu Morioka, Kaori Sueda	
4. Effect of a milk preload on glycemia, insulin and incretin after a boiled rice consumption in type2	学会 発表	2015年5月	12th Asian Congress of Nutrition, Yokohama, Japan	Kaori Sueda, Eiko Sakai, Tomoko Uno, Yuzo Sato	
5.児童の瘦身の経年変化と生活習慣要因の 関連	学会 発表	2015年6月	第4回日本栄養改善学 会東海支部会学術総 会, 名古屋文理大学, 稲 沢	水野達也, 末田香里, 酒井映子	
6.一般演題Ⅲ 栄養教育	一般 演題 座長	2015年6月	第4回日本栄養改善学 会東海支部会学術総 会, 名古屋文理大学, 稲 沢	酒井映子	
7.心と身体のリフレッシュ～食事の自己管 理～ 食事評価と野菜のとり方について	講義	2015年7月	平成27年度 教員免許 状更新講習 講座 B3	酒井映子	
8.平成27年度 愛知県学校給食献立コンク ール	審査 委員 長	2015年8月	愛知県教育委員会, (公)愛知県学校給食 会, ウィルあいち, 名古 屋	酒井映子	
9.主観的食事量『腹八分目』の栄養教育の行 動目標としての効果の検討	学会 発表	2015年9月	第62回日本栄養改善学 会, 福岡	酒井映子, 北川千加良, 森岡亜有, 末田香里	
10.生活習慣病ハイリスク者に対する食事 バランスガイドの活用	学会 発表	2015年9月	第62回日本栄養改善学 会, 福岡	北川千加良, 森岡亜有, 末田香里, 酒井映子	
11.卵の米飯食後血糖上昇抑制効果—生卵・ 半熟卵・ゆで卵の比較—	学会 発表	2015年9月	第62回日本栄養改善学 会, 福岡	末田香里, 酒井映子	

## 末田香里

B (論文)					
著書, 論文等の名称	単著 共著	発行・ 発表年月	発行所, 発表雑誌 (及び巻号数) 等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
1.小学生の食育推進のための栄養教育方法の検討	共著	2015年3月	愛知学院大学心身科学 研究所紀要 心身科学 第7巻第1号	酒井映子, 森岡亜有, 内藤正和, 北川千加良, 末田香里	pp.75 - 84
D (学会発表等)					
演題の名称	発表 形式	発表年月	学会等名称, 開催地	発表者	
1. Effect of a milk preload on glycemia, insulin and incretin after a boiled rice consumption in type 2 diabetes	学会 発表	2015年5月	12th Asian Congress of Nutrition, Yokoham, Japan	<u>Kaori Sueda</u> , Eiko Sakai Tomoko Uno and Yuzo Sato	
2. Influences of parents' awareness on nutrition education at home for pre - school	学会 発表	2015年5月	12th Asian Congress of Nutrition, Yokoham, Japan	Eiko Sakai , Tikara Kitagawa , Ayu Morioka and <u>Kaori Sueda</u>	
3.児童の瘦身の経年変化と生活習慣要因の関連	学会 発表	2015年6月	第4回日本栄養改善学 会東海支部会学術総会, 名古屋文理大学, 稲沢	水野達也, 末田香里, 酒井映子	
4.卵の食後血糖上昇抑制効果 - 生卵・半熟卵・ゆで卵の比較 -	学会 発表	2015年9月	第62回日本栄養改善学 会学術総会, 福岡	末田香里, 酒井映子	
5.主観的食事量「腹八分」の利用教育の行動目標としての効果の検討	学会 発表	2015年9月	第62回日本栄養改善学 会学術総会, 福岡	酒井映子, 北川千加良, 森岡亜有, 末田香里	
6.生活習慣病ハイリスク者に対する食事パランスガイドの活用	学会 発表	2015年9月	第62回日本栄養改善学 会学術総会, 福岡	北川千加良, 森岡亜有, 末田香里, 酒井映子	

## 丸山和佳子

B (論文)					
著書, 論文等の名称	単著 共著	発行・ 発表年月	発行所, 発表雑誌 (及び巻号数) 等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
1.クルクミン誘導体, とくにテトラヒドロクルクミンによる寿命延長効果	共著	2015年	Functional Food.27巻 1号	丸山和佳子, 永井雅代, 山岡朗子	pp.10 - 13
2. SIRT1 suppresses the senescence - associated secretory phenotype through epigenetic gene regulation.	共著	2015年1月	PLoS One. Jan 30;10 (1)	Hayakawa T, Iwai M, Aoki S, Takimoto K, Maruyama M, <u>Maruyama W</u> , Motoyama N.	
3. Modulation of monoamine oxidase (MAO) expression in neuropsychiatric disorders: genetic and environmental factors involved in type A MAO expression.	共著	2015年1月	J. Neural. Transm. 印刷中	Naoi M, Riederer P, Maruyama W.	
D (学会発表等)					
演題の名称	発表 形式	発表年月	学会等名称, 開催地	発表者	
1. Neurological Disorders	学会 座長	2015年9月	第58回神経化学会, 大宮	<u>Wakako Maruyama</u>	
2. PUFA - derived lipid peroxide enhances alpha - synuclein toxicity through perturbation of autophagy system	学会 発表	2004年9月	第58回神経化学会, 大宮	Wakako Maruyama, Masayo Shamoto - Nagai, Makoto Naoi	

## 望月美佳

A (著書)					
著書, 論文等の名称	単著 共著	発行・ 発表年月	発行所, 発表雑誌 (及び巻号数)等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
食物と健康の科学シリーズ ゴマの機能と科学	共著	2015年1月	朝倉出版	並木満夫, 福田靖子, 田代 亨, 大澤俊彦, 望月美佳, 他	pp.72 - 79
D (学会発表等)					
演題の名称	発表 形式	発表年月	学会等名称, 開催地	発表者	
Anti - atherosclerotic effect of Ursolic acid and derivatives by the expression of cell adhesion molecules induced by TNF - alpha.	学会 発表	2015年5月	第12回アジア栄養学会 議 ACN2015 (12th Asian Congress of Nutrition)	Mika Mochizuki, Taichi Uozumi, Shinsuke Hisaka, Toshihiko Osawa	
A study on health promoting power in Astaxanthin by using dual - mode observation of innate immune responses in neutrophils	学会 発表	2015年5月	第12回アジア栄養学会 議	Kimko Kazumura, Yukiko Sato, Mika Mochizuki, Hiroshi Tsuchiya, Takashi Koike, Yuqiu Wu, Shigetoshi Okazaki, and Toshihiko Osawa	

## 森 圭子

A (著書)					
著書, 論文等の名称	単著 共著	発行・ 発表年月	発行所, 発表雑誌 (及び巻号数)等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
五訂 ライフステージの栄養学 理論と実習, 第4部老年期の栄養, 第9章老年前期の栄養	共著	2015年4月	株式会社みらい	桑森豊美, 志塚ふじ子 編著, 森 圭子他12名	pp.172 - 186
五訂 給食経営管理実習, 3給食の計画II. 栄養計画, 4給食の実習, I. 検収と保管	共著	2015年4月	株式会社みらい	井上明美, 木村友子, 平光美津子編著, 森 圭子他8名	pp.78 - 97
B (論文)					
著書, 論文等の名称	単著 共著	発行・ 発表年月	発行所, 発表雑誌 (及び巻号数)等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
1.管理栄養士養成大学における災害時の役割と非常食備蓄状況の検討	単著	2015年3月	心身科学, 第7巻第1号.	森 圭子	pp.57 - 64
D (学会発表等)					
演題の名称	発表 形式	発表年月	学会等名称, 開催地	発表者	
1.第2回なごや介護予防・認知症予防プログラム策定検討会	会議	2014年10月	名古屋市総合社会福祉会館	森 圭子	
2.第3回なごや介護予防・認知症予防プログラム策定検討会	会議	2014年11月	名古屋市役所	森 圭子	
3.第4回なごや介護予防・認知症予防プログラム策定検討会	会議	2014年12月	名古屋市総合社会福祉会館	森 圭子	
4.愛知県立御津高等学校模擬授業「戦後の栄養改善・給食と体位の向上, 現在の管理栄養士の役割」	模擬 授業	2014年12月	愛知県立御津高等学校	森 圭子	
5.第2回道の駅瀬戸しなの経営推進会議	会議, 座長	2014年12月	瀬戸市市役所	森 圭子	
6.第1回「瀬戸市地産地消推進計画」に基づく地産地消に関するせ作の実際に向けた検討会議	会議, 座長	2014年12月	瀬戸市市役所	森 圭子	

7.第2回「瀬戸市地産地消推進計画」に基づく地産地消に関するせ作の実際に向けた検討会議	会議、座長	2015年1月	瀬戸市資源リサイクルセンター	森 圭子	
8.東海農政局×愛知学院大学共催「LOVE フラワーバレンタイン」PR イベント	共同企画・運営・実施	2015年2月	愛知学院大学名城キャンパス	ゼミ生5名, 森 圭子	
9.瀬戸市地産地消に関する施策の実施に向けての現地調査	調査	2015年2月	瀬戸地域アグリカルチャー推進協議会より派遣, 兵庫県箕面市役所・豊岡市役所, 京都府南丹市美山支所	森 圭子	
10.第3回「瀬戸市地産地消推進計画」に基づく地産地消に関するせ作の実際に向けた検討会議	会議、座長	2015年2月	瀬戸市資源リサイクルセンター	森 圭子	
11.東海農政局における農村振興施策に関する選定審査委員会	会議	2015年3月	名古屋市東海農政局	森 圭子	
12.愛知県立維新高等学校模擬授業「骨を元気にする食事」	模擬授業	2015年3月	愛知学院大学	森 圭子	
13.愛知県立成章高等学校模擬授業「わが国における老年期やせとマタニティダイエットの問題」	模擬授業	2015年3月	愛知県立成章高等学校	森 圭子	
14.第4回「瀬戸市地産地消推進計画」に基づく地産地消に関する施策の実際に向けた検討会議	会議、座長	2015年3月	瀬戸市役所	森 圭子	
15.第3回道の駅瀬戸しなの経営推進会議	会議、座長	2015年3月	瀬戸市役所	森 圭子	
16.なごや介護予防・認知症予防プログラムのモデル事業担当者説明会	講師	2015年4月	名古屋市緑区	森 圭子	
17.平成27年度名古屋市東保健所「介護予防事業」第1回「シニアのための楽々お食事サロン」	講師	2015年5月	名古屋市東区保健所	森 圭子	
18. Stockpile situation of emergency food at home in Japan – Comparison between actual and self – reported stockpiles –	国際学会・ポスター発表	2015年5月	12 t h Asian Congress of Nutrition, 2015, Yokohama, Japan	Keiko Mori	
19.東海農政局・愛知学院大学心身科学部連携講義「我が国の食料事情」	世話人	2015年7月	愛知学院大学	森 圭子	
20.平成27年度第1回東海農政局における農村振興施策に関する交付金評価委員会および平成26年度交付金採択優良施設の視察	会議、座長	2015年7月	東海農政局, 三重県松阪	森 圭子	
21.平成27年度第2回東海農政局における農村振興施策に関する交付金評価委員会	会議	2015年8月	東海農政局	森 圭子	
22.大学生の食に関する実態と意識との検討	学会・口頭発表	2015年9月	第62回日本栄養改善学会学術総会, 福岡	森 圭子	
23.栄養教育・食育 大学生(4)	学会一般演題口頭発表/座長	2015年9月	第62回日本栄養改善学会学術総会, 福岡	森 圭子	

24. 平成27年度名古屋市東保健所「介護予防事業」第2回「シニアのための楽々お食事サロン」	講師	2015年9月	名古屋市東区保健所	森 圭子	
25. 第5回なごや介護予防・認知症予防プログラム策定検討会	会議	2015年9月	名古屋市総合社会福祉会館	森 圭子	

## 渡邊智之

B (論文)					
著書, 論文等の名称	単著 共著	発行・ 発表年月	発行所, 発表雑誌 (及び巻号数) 等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
戦後におけるがんの世代別影響－コホート生命表による分析－	単	2014年10月	厚生指標, 61(12)	渡邊智之	pp.1-5
糖尿病診療における食事療法・運動療法の現状－糖尿病患者の全国調査集計成績－	共	2015年4月	糖尿病, 58(4)	荒川聡美, 渡邊智之, 曾根博仁, 小林 正, 河盛隆造, 渥美義仁, 押田芳治, 田中史朗, 鈴木 進, 牧田 茂, 大澤 功, 田村好史, 佐藤祐造	pp.265-278
Awareness of folic acid use increases its consumption, and reduces the risk of spina bifida	共	2015年5月	British Journal of Nutrition	A Kondo, N Morota, H Date, K Yoshifuji, T Morishima, M Miyazato, R Shirane, H Sakai, K H Pooh, T Watanabe	doi:10.1017/S0007114515001439
バイオフィードバックトレーニングが脳血流分布に及ぼす影響	共	2015年6月	デサントスポーツ科学, 36	高田宗樹, 宮尾 克, 塩沢友規, 渡邊智之, 高田真澄	pp.78-89
Outcome of adolescent patients with acute myeloid leukemia treated with pediatric protocols	共	2015年7月	International Journal of Hematology	D Tomizawa, T Watanabe, R Hanada, K Horibe, Y Horikoshi, S Iwamoto, A Kinoshita, H Moritake, H Nakayama, A Shimada, T Taga, H Takahashi, A Tawa, K Terui, H Hori, Y Kawano, A Kikuta, A Manabe, S Adachi	DOI: 10.1007/s12185-015-1825-x
わが国における糖尿病運動療法の実施状況(第1報)－医師側への質問紙全国調査成績－	共	2015年8月	糖尿病, 58(8)	佐藤祐造, 曾根博仁, 小林 正, 河盛隆造, 渥美義仁, 押田芳治, 田中史朗, 鈴木 進, 牧田 茂, 大澤 功, 田村好史, 渡邊智之	pp.568-575

D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称、開催地	発表者	
東日本大震災における放射線に対する学校の対応の現状と放射線被曝が子ども達に与える影響の検討	学会発表	2014年11月	第61回日本学校保健学会、金沢	渡邊智之, 後藤ひとみ, 福田博美, 宮尾 克	
平成21年4月改正「学校保健安全法」に伴う学校医活動の今後の在り方について(試案)	学会発表	2014年11月	第45回全国学校保健・学校医学会、金沢	稲坂 博, 吉田 衛, 小島邦義, 濱島 崇, 長島正實, 渡邊智之, 宮尾 克, 佐藤祐造, 平光伸也, 纈纈雅明, 吉田 貴, 伊藤宣夫, 柵木充明	
Outcome of Adolescent and Young Adults with Acute Myeloid Leukemia Treated with Pediatric Protocols: A Report from the 3 Japanese Cooperative Studies	学会発表	2014年12月	2014 American Society of Hematology (ASH) Annual Meeting and Exposition, San Francisco, CA, USA	D Tomizawa, T Watanabe, R Hanada, K Horibe, Y Horikoshi, S Iwamoto, A Kinoshita, H Moritake, H Nakayama, A Shimada, T Taga, H Takahashi, A Tawa, K Terui, H Hori, Y Kawano, A Kikuta, A Manabe, S Adachi	
Risk - oriented therapy for Myeloid leukemia of Down syndrome : A Nationwide prospective study by the Japanese Pediatric Leukemia / Lymphoma Study Group (JPLSG)	学会発表	2014年12月	2014 American Society of Hematology (ASH) Annual Meeting and Exposition, San Francisco, CA, USA	T Taga, T Watanabe, K Kudo, D Tomizawa, K Terui, H Moritake, A Kinoshita, S Iwamoto, H Nakayama, H Takahashi, A Shimada, T Taki, A Tawa and S Adachi	

High Event – Free Survival Rate with Minimum – Dose – Anthracycline Treatment in Childhood Acute Promyelocytic Leukemia: A Nationwide Prospective Study By the Japanese Pediatric Leukemia / Lymphoma Study Group (JPLSG)	学会 発表	2014年12月	2014 American Society of Hematology (ASH) Annual Meeting and Exposition, San Francisco, CA, USA	H Takahashi, <u>T Watanabe</u> , A Kinoshita, Y Yuza, H Moritake, K Terui, S Iwamoto, H Nakayama, A Shimada, K Kudo, T Taki, M Yabe, H Matsushita, Y Yamashita, K Koike, A Ogawa, Y Kosaka, D Tomizawa, T Taga, A M. Saito, K Horibe, T Nakahata, H Miyachi, A Tawa, S Adachi	
Outcome of 136 Children with Advanced Lymphoblastic Lymphoma Receiving an BFM – Type Therapy with Intensified Maintenance: A Report from the Japanese Pediatric Leukemia/Lymphoma Study Group ALB – NHL03 Study	学会 発表	2014年12月	2014 American Society of Hematology (ASH) Annual Meeting and Exposition, San Francisco, CA, USA	S Sunami, M Sekimizu, T Takimoto, T Mori, T Mitsui, R Fukano, T Mori, A Kikuta, K Katsuyoshi, T Imamura, A M Saito, <u>T Watanabe</u> , K Ohshima, J Fujimoto, A Nakazawa, R Kobayashi, K Horibe, M Tsurusawa	
The Clinical Features and Prognosis of Early T – Cell Precursor Subtype of Lymphoblastic Lymphoma in the Japanese Pediatric Leukemia/Lymphoma Study Group ALB – NHL03 Study	学会 発表	2014年12月	2014 American Society of Hematology (ASH) Annual Meeting and Exposition, San Francisco, CA, USA	R Fukano, S Sunami, M Sekimizu, T Takimoto, T Mori, T Mitsui, T Mori, A M Saito, <u>T Watanabe</u> , K Ohshima, J Fujimoto, A Nakazawa, N Kiyokawa, R Kobayashi, K Horibe, M Tsurusawa	

降圧剤など服薬の有無別にみた愛知県の特 定健康診査の縦断的検討－特定保健指導の 基礎資料としての活用－	学会 発表	2015年 2 月	日本総合健診医学会第 43回大会, 富山	稲坂 博, 柵木充明, 山本 楯, 横井 隆, 伊藤宣夫, 吉田 貴, 平光伸也, 志賀捷浩, 水上哲秀, 細川秀一, 城 義政, 池山真治, 関 正己, 長谷川 旭, 渡邊智之, 宮尾 克	
日本小児白血病・リンパ腫研究グループに よる小児非ホジキンリンパ腫に対する臨床 試験の治療成績	学会 発表	2015年 4 月	第104回日本病理学会 総会, 名古屋	鶴澤正仁, 森 鉄也, 菊地 陽, 小林良二, 堀部敬三, 角南勝介, 三井哲夫, 中澤温子, 斎藤明子, 渡邊智之	
チョコレート効果 CACAO72% 4週間摂取 による生活習慣病改善効果に関する探索的 評価	学会 発表	2015年 5 月	第15回日本抗加齢医学 会総会, 福岡	石川大仁, 瀧本陽介, 山地健人, 伊藤裕之, 早川 潔, 河邊義和, 渡邊智之, 大澤俊彦	
社会人経験のある看護学生が学生生活を続 けていく上で困難だと感じている要因の検 討	学会 発表	2015年 9 月	第58回東海学校保健学 会, 名古屋	鈴木 孝, 田口恵美子, 渡邊智之, 大澤 功	